

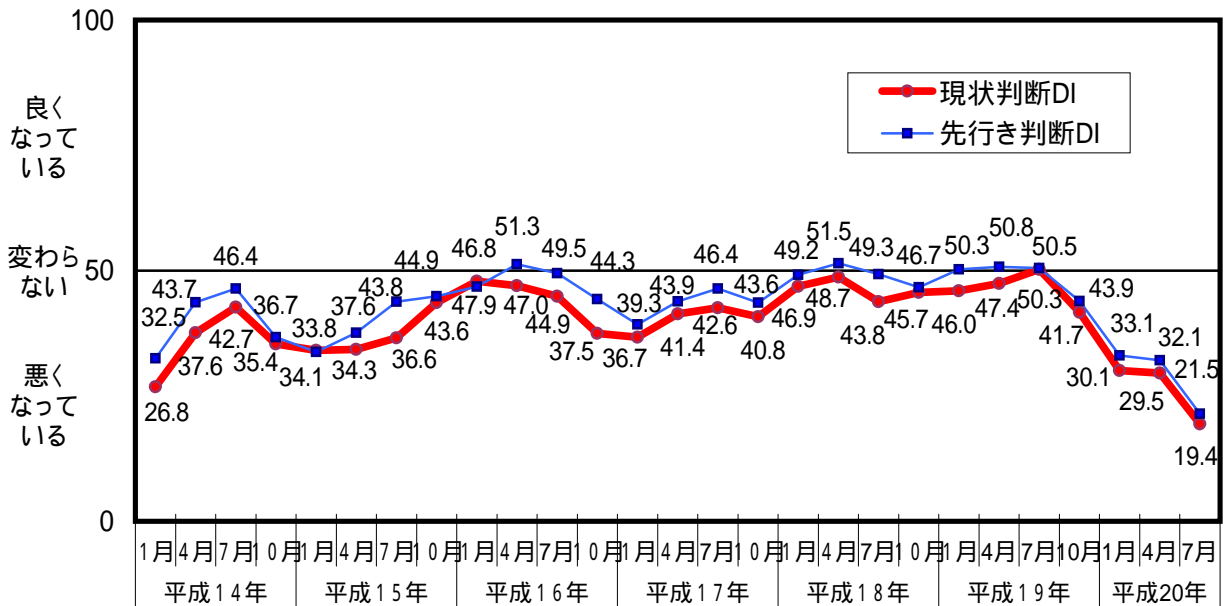
# 青森県景気ウォッチャー調査 (平成20年7月期)

調査期間 平成20年7月1日～7月16日 回答率99%

**概 況**

7月期は、景気の状態判断DIが4期連続、先行き判断DIが5期連続低下し、いずれも4期連続で横ばいを示す50を下回った。

## 景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成20年8月

青森県企画政策部統計分析課

## 青森県景気ウォッチャー調査について

### 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### 2. 調査の実施概要

#### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### 地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

#### (2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

#### (3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

### 3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)  
 FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

#### 県全体の動向

前期調査と比べると、「変わらない」が14.1ポイント減少し、「悪くなっている」が18.2ポイント増加したことにより、全体では10.1ポイント減の19.4となり、4期連続で横ばいを示す50を下回った。

判断理由をみると、一部においてお客様の来場が増え、契約数も上がったという声や高額の旅商品が売れているという声があったが、原油、原材料の高騰やガソリン、食品等の値上げが生活防衛を加速させ、消費者心理を冷え込ませているという意見が多かったほか、津軽地方でのりんごの霜・ひょうの被害が町の景気全体に暗い影を落としているという意見があった。

#### 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連では、小売で17.1ポイント減と大幅な減少となり、11.2ポイントの減少となった。また、企業関連でも9.7ポイント減少した。

#### 地区別の動向

前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。とくに、津軽地区では、19.2ポイント減と大幅な減少となった。

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

#### 県全体の動向

前期調査と比べると、「変わらない」が11.1ポイント減少し、「悪くなる」が17.2ポイント増加したことにより、全体では前期を10.6ポイント下回る21.5となり、4期連続で横ばいを示す50を下回った。

判断理由を見ると、景気が良くなる材料がないという意見のほか、燃油高による資材・原材料価格の高騰、コストの上昇やそれに伴う商品の更なる値上げによる消費の落ち込みを懸念する声が多かった。

#### 分野別の動向

前期調査に比べて、家計関連では、飲食で19.0ポイント減と大幅な減少となり、11.2ポイントの減少となった。また、企業関連で6.9ポイント、雇用関連で14.3ポイント減少し、すべての分野でポイントが減少した。

#### 地区別の動向

前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。とくに、津軽地区では、18.3ポイント減と大幅な減少となった。

## 2. 県全体の動向

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	<b>50.3</b>	<b>41.7</b>	<b>30.1</b>	<b>29.5</b>	<b>19.4</b>
家計関連	50.0	39.5	30.4	32.1	20.9
小売	45.8	38.8	26.7	37.1	20.0
飲食	50.0	29.2	33.3	33.3	22.7
サービス	54.8	46.3	30.6	25.9	18.5
住宅	50.0	33.3	45.0	33.3	33.3
企業関連	51.4	50.0	30.6	25.0	15.3
雇用関連	50.0	42.9	25.0	14.3	14.3

回答別構成比(%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	24.2	13.1	9.1	5.1	1.0
変わらない	54.5	49.5	24.2	29.3	15.2
やや悪くなっている	19.2	28.3	44.4	44.4	44.4
悪くなっている	2.0	9.1	22.2	21.2	39.4

### (2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	<b>50.5</b>	<b>43.9</b>	<b>33.1</b>	<b>32.1</b>	<b>21.5</b>
家計関連	51.0	42.2	33.1	33.8	22.6
小売	48.3	41.4	24.2	34.5	21.7
飲食	52.1	31.3	37.5	41.7	22.7
サービス	54.8	48.1	39.8	28.7	21.3
住宅	45.8	41.7	40.0	37.5	33.3
企業関連	47.2	48.6	30.6	23.6	16.7
雇用関連	53.6	50.0	39.3	35.7	21.4

回答別構成比(%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなる	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	22.2	15.2	8.1	9.1	2.0
変わらない	57.6	54.5	34.3	31.3	20.2
やや悪くなる	16.2	21.2	39.4	38.4	39.4
悪くなる	3.0	9.1	18.2	21.2	38.4

### 3. 地区別の動向

#### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断

##### < 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	<b>49.2</b>	<b>41.7</b>	<b>30.0</b>	<b>25.8</b>	<b>20.8</b>
家計関連	47.8	40.2	30.4	29.3	23.9
小売	44.4	38.9	25.0	38.9	22.2
飲食	50.0	33.3	25.0	25.0	25.0
サービス	52.8	44.4	33.3	25.0	22.2
住宅	37.5	37.5	50.0	12.5	37.5
企業関連	50.0	56.3	31.3	18.8	18.8
雇用関連	58.3	33.3	25.0	8.3	0.0

#### 回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	10.0	6.7	0.0	0.0
変わらない	56.7	56.7	30.0	30.0	23.3
やや悪くなっている	23.3	23.3	40.0	43.3	36.7
悪くなっている	0.0	10.0	23.3	26.7	40.0

##### < 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	<b>46.7</b>	<b>34.2</b>	<b>28.3</b>	<b>32.5</b>	<b>13.3</b>
家計関連	47.7	31.8	30.7	31.8	12.5
小売	41.7	27.8	25.0	36.1	16.7
飲食	41.7	25.0	50.0	33.3	8.3
サービス	56.3	40.6	28.1	28.1	9.4
住宅	50.0	25.0	37.5	25.0	12.5
企業関連	50.0	37.5	25.0	37.5	12.5
雇用関連	25.0	50.0	12.5	25.0	25.0

#### 回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	0.0	10.0	3.3	0.0
変わらない	60.0	53.3	20.0	36.7	6.7
やや悪くなっている	16.7	30.0	43.3	46.7	40.0
悪くなっている	6.7	16.7	26.7	13.3	53.3

< 県南地区 >

D I

n=30

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	53.4	50.0	37.1	30.2	25.0
家計関連	53.8	47.5	37.5	35.0	27.4
小売	52.8	50.0	36.1	40.6	25.0
飲食	50.0	41.7	41.7	33.3	25.0
サービス	54.2	50.0	35.7	21.4	25.0
住宅	62.5	37.5	50.0	62.5	50.0
企業関連	50.0	57.1	35.7	21.4	17.9
雇用関連	62.5	50.0	37.5	12.5	25.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	34.5	31.0	13.8	13.8	3.3
変わらない	44.8	37.9	31.0	13.8	16.7
やや悪くなっている	20.7	31.0	44.8	51.7	56.7
悪くなっている	0.0	0.0	10.3	20.7	23.3

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	55.0	40.0	15.0	30.0	16.7
家計関連	52.8	38.9	13.9	33.3	18.8
小売	41.7	41.7	8.3	25.0	8.3
飲食	58.3	16.7	16.7	41.7	37.5
サービス	58.3	58.3	16.7	33.3	16.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	60.0	50.0	0.0	50.0	11.1
やや悪くなっている	10.0	30.0	60.0	20.0	44.4
悪くなっている	0.0	10.0	40.0	30.0	44.4

( 2 ) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	<b>49.2</b>	<b>42.5</b>	<b>33.3</b>	<b>29.2</b>	<b>25.0</b>
家計関連	48.9	41.3	35.9	33.7	28.3
小売	50.0	47.2	30.6	30.6	25.0
飲食	50.0	33.3	33.3	58.3	25.0
サービス	47.2	36.1	41.7	30.6	27.8
住宅	50.0	50.0	37.5	25.0	50.0
企業関連	56.3	50.0	25.0	18.8	12.5
雇用関連	41.7	41.7	25.0	8.3	16.7

回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	13.3	6.7	10.0	3.3
変わらない	56.7	56.7	36.7	26.7	26.7
やや悪くなる	20.0	16.7	40.0	33.3	36.7
悪くなる	3.3	13.3	16.7	30.0	33.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	<b>50.8</b>	<b>42.5</b>	<b>30.8</b>	<b>33.3</b>	<b>15.0</b>
家計関連	51.1	39.8	29.5	33.0	14.8
小売	50.0	36.1	19.4	38.9	22.2
飲食	58.3	25.0	50.0	50.0	16.7
サービス	53.1	50.0	31.3	18.8	6.3
住宅	37.5	37.5	37.5	37.5	12.5
企業関連	45.8	45.8	33.3	33.3	12.5
雇用関連	62.5	62.5	37.5	37.5	25.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	16.7	6.7	3.3	0.0
変わらない	66.7	46.7	30.0	43.3	10.0
やや悪くなる	10.0	26.7	43.3	36.7	40.0
悪くなる	3.3	10.0	20.0	16.7	50.0

< 県南地区 >

D I

n=30

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	50.9	48.3	36.2	37.9	27.5
家計関連	52.5	46.3	35.0	40.0	28.6
小売	47.2	40.6	22.2	43.8	22.2
飲食	50.0	41.7	41.7	33.3	25.0
サービス	62.5	57.1	46.4	35.7	35.7
住宅	50.0	37.5	50.0	50.0	37.5
企業関連	42.9	53.6	32.1	21.4	25.0
雇用関連	62.5	50.0	62.5	75.0	25.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	31.0	17.2	13.8	17.2	3.3
変わらない	44.8	62.1	34.5	27.6	30.0
やや悪くなる	20.7	17.2	34.5	44.8	40.0
悪くなる	3.4	3.4	17.2	10.3	26.7

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
<b>合 計</b>	52.5	40.0	30.0	20.0	11.1
家計関連	52.8	41.7	30.6	22.2	12.5
小売	41.7	41.7	25.0	8.3	8.3
飲食	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0
サービス	66.7	58.3	41.7	33.3	8.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	70.0	50.0	40.0	20.0	0.0
やや悪くなる	10.0	30.0	40.0	40.0	44.4
悪くなる	0.0	10.0	20.0	40.0	55.6



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	県南	住宅建設販売	5月、6月とお客様の来場が少なかったが、7月になってお客様の来場が増えてきた。ボーナスの効果なのか、契約数も上っている。
変わらない	家計	東青	衣料専門店	昨対比で見ると売上は上がっています。5月に価格訴求の催事を実施したからです。その効果は次月まで続きましたが、通常価格では売上減の危機感からの苦肉の策。高額商品の売上減少が続いています。衣料品業界、アウトレットが一人勝ちしている傾向が良くわかります。 中心商店街区（サンプル97店舗）で実施した4月下旬の売上動向調査では昨対比100.35%でした。 回答理由：プロパー＝減、催事＝増、イコール 変わらない。
			一般飲食店	給料が上がらないから
			競輪場	売り上げは、平均すると横バイ状態である。
			設計事務所	地元大手建設企業の倒産は少なからず業界を震撼させた。
			都市型ホテル	悪い状態が継続している。
			乗用車販売	販売がきびしくなっている。
			旅行代理店	当社の高額商品が売れている。
		津軽	美容院	出費に関してはかなりしぶくなっているが、価値観に合ったものにはためらいがない。
		県南	スーパー	ガソリン他食料品の価格が高くなっているにもかかわらず、消費は下っていない。
	一般飲食店		常に景気不安がつきまとい、景気に対する安心が得られそうもない。	
	商店街		変わらないといっても悪いままです。	
	タクシー		夏になったら仕事が出て来るかと期待をしていたが、全く期待はずれである。	
		下北	一般飲食店	良くはならない、変らないから、まだまだ悪くなる可能性があります。
		企業	津軽	広告・デザイン
やや悪くなっている	家計	東青	コンビニ	ガソリン高に加え、商品の値上がりが続き、お客様のサイフはかなり厳しくなっています。
			パチンコ	夜の歓楽街を見ても活気が無く、景気の良い話を聞かない。
			百貨店	ガソリンをはじめ、食料品の値上げが相次ぎ、生活防衛が一段と強くなった。お買上げ客数が減じていることから、ダメージを受けている客層が広がっていると思われます。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪く なっている	家計	東青	住宅建設販売	食品、原油（ガソリン）高騰、将来不安による住宅買い控え傾向、ローコスト会社の棟数増加傾向。給与ベースアップほとんどないと聞いてます。
			家電量販店	売上、客数の前年割れ（4月は良かったが）
			商店街	相次ぐ値上げラッシュで、消費の切り詰め傾向は強まるばかり。
			レストラン	景気が悪いの一言!!自分だけでは・・・
			美容院	原油の値上げなどの原因で全ての消費行動が足ぶみしている感じがする。
		津軽	百貨店	株安による投資意欲の冷え込みや、ガソリンや食品の値上げに対する家計の節約志向がますます強まっている。
			スーパー	世の中が全体的に値上した事により、生活防衛意識が高まり、買い控えや無駄な物を買わなくなってきた様に見受けられる。又、数字で見ると、一品単価が上がり、客単価が下がっている。
			衣料専門店	原油、各種の原材料の高騰、電気料、ガス、ガソリン、肥料、食品等々の値上げは生活防衛を加速させ、消費者心理一段と冷えこむ。
			家電量販店	物価上昇の見通し、耐久消費財の買いタイミング待ち
			住宅建設販売	建材等の材料の高騰、食品等の生活必需品の高騰
			旅行代理店	諸物価の値上り、天候不順等による消費能力が低下している。
			一般小売店	物価高、所得減（給・賞与減）、人口減と八方ふさがり。
			県南	乗用車販売
		衣料専門店		今迄にないような値上りで、御客様がたも我慢しなければならないのは衣料品だねと言って帰られます。
		美容院		来店サイクルが長くなっている。店販品の回転もにぶくなって来ている。一般的にかなり我慢している様に見える。
		ガソリンスタンド		諸物価上昇により（特に石油類）
		設計事務所		これまで景気が良いと言われていた中央都市圏も悪い方向に行きだしたので、これまで悪かった当地方はますます下向きではないか？
		百貨店		7月に入り、クリアランス順調だが、明らかにお客様の単価は下がっている。物価上昇を意識しての買いひかえの動きあり。
		旅行代理店		原油高騰に伴う資材、燃料の値上がり、高止まり、更に食料品も値上げが続いており、消費者は生活防衛に入ってきているのではないか。車も通勤だけに使用し遠出はしない、さしあたって不必要なことへの支出を控える等。
		一般小売店	物価高なのに、収入が増えない。スタグフレーションの傾向が増々強くなっている。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	県南	観光型ホテル・旅館	ガソリンを含む各種製品の値上げが影響
			コンビニ	さまざまな商品の値上げに伴い、お客様の購入頻度の低下が大きい。良くなる傾向は見られない。
			観光名所等	一番の掻き入れ時で、毎年、駐車場に入る車で道路が渋滞するのですが、今年はスムーズだった。
			スナック	政治の混乱による地方への不安。現時点においても大変なのに、更に駄目になる材料ばかり。これじゃ景気が良い方向に行くわけがない。
		下北	スーパー	衣料品の売上減 客数の減
			レストラン	灯油、ガソリン、ガス代、電気代の値上りの為、景気は悪くなっています。
			ガソリンスタンド	原油の記録的高騰でガソリンをはじめ、ありとあらゆる物の物価が上がることにより、家計や会社の経費を圧迫してきている。
			都市型ホテル	ガソリン、食材の高騰のため
	企業	東青	建設	受注難と原材料価格の高騰
			広告・デザイン	原油高によるコスト増や消費者の買い控えによって企業側は、ますます広告予算の見直し、縮小を図っている。
			経営コンサルタント	物価の上昇から家計の生活防衛意識が強まっている。
		津軽	経営コンサルタント	津軽のりんごのヒョウ被害により、実際の収入減はまだだが、町の景気全体に暗い影を投げかけている。
		県南	経営コンサルタント	原油（ガソリン）原材料高の影響で物価が上昇しているが、消費は低迷していて先行きに期待できない。
			電気機械製造	欧米からの受注が減ってきている。原材料の高騰やエネルギー問題などで、拡大一辺倒といかなくなり、混乱が感じられる。
			紙・パルプ製造	諸資材価格の高騰が企業収益を圧迫する状況が続いている。
			食料品製造	悪く感じる要素（エネルギー関連、素材高騰）が多い。
飲料品製造	資材、重油などの値上がり、物資の必要を考えながら、最低限の仕入れをおこなっている。一般小売店でも仕入れを控えているところが多い。			
雇用	津軽	人材派遣	なんといっても原油価格高騰を発端とした原材料価格の値上がりにより、ガソリン、住宅等建築材料、また生きていく上で必要不可欠な食料品までもが大幅な値上げとなっている。一方給料など所得が増えていないことで、一般庶民は消費を極力控える傾向にある。	
		新聞社求人広告	求人、営業広告売り上げは右肩下がりが続いており、その度合いも強まっている。	
悪くなっている	家計	東青	観光名所等	地震の影響で東北がマイナスイメージになった気がします。
			スーパー	ガソリン等の毎月の値上により、消費者は買い控えとより一層、低価格志向へ移行している。

現状	分野	地区	業種	理由	
悪くなっている	家計	東青	卸売業	お得意先並びにその先の消費者の方の購買意欲が感じられない。実際悪い。	
			ガソリンスタンド	原油高の影響が目に見えて現れて来ている。	
			スナック	悪くなる一方です。悩みの毎日です。皆様もご存じの通り、何もかも値上げで、なおさら悪くなるだけです。又、私の知人何人か仕事がなく、気の毒ですが、どうしようも有りません。	
			一般小売店	物価高・消費低迷	
			観光型ホテル・旅館	先日の宮城岩手の地震と原油高により、景気の悪化が加速していると思われます。	
			タクシー	給与所得が上がらず、消費する生活物価の上昇、各保険の値上、燃料の値上、法人利益の減又はマイナス。家計における消費力の低下、悪循環はまだまだ続く。	
		津軽	パチンコ	売上の動きが悪い。	
			タクシー	給料が上らない中での原油高・食料品の値上げなど家計を直撃する事柄が続いている。	
			観光型ホテル・旅館	お客様の減少が連日続いている。（お客様が無い日が続いている。）	
			観光名所等	ガソリン、原材料、生活物資、消費税値上論	
			スナック	うちの店、団体のお客様が来てくれるから、店はどうにかやれますが、皆さん客が来ないと泣いています。	
			一般飲食店	周辺の農家の果実、野菜等が春からの天候不順で被害が拡大しているの、飲食までまわらないと！	
	ガソリンスタンド		ガソリン及び石油製品の高騰で、消費の落ち込みが顕著に表れている。		
	商店街		相次ぐ物価の値上がりが消費者の買控傾向に拍車をかけている状況であり、来街者の減少が見受けられる。		
	県南	設計事務所	あらゆる物価が上がっている現状では悪くなる一方です。		
		都市型ホテル	法人関係の行事取止め他、予算の縮小が顕著である。		
		コンビニ	・原油をはじめとした物価上昇による消費支出の縮減がお客様からの声として伝わってきている。 ・飲食店の閉店も近所で発生している。		
		レストラン	ガソリンや食品の価格高騰で、家計が圧迫されていて苦しい為		
				家電量販店	月毎に来店客数は大きく落ちて来ている。売上の伸びる土曜、日曜日でも来店客数は、平日と変わらない事が多い。
				パチンコ	売上が落ちている。特にこの業界は娯楽産業の為、一番先に控えるものと思う。遊技したくとも余裕がない為、見ているだけのお客様が店内にいることが以前より多く感じる。
卸売業				原油価格の高騰により、原材料価格が値上げとなり、商品の値上げラッシュであり、消費が低下傾向にある。	

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	下北	一般小売店	ガソリン高の影響が、目に見えてわかります。店の前の国道を走る車の台数、来店客数、明らかに減っております。所得が増えていない中での食料品及びガソリン高、財布のひもは一段と固くなりました。
			タクシー	ガソリン等燃料の暴騰が生活物価に悪影響して来た。
			コンビニ	物価上昇で安い商品に目がむけられている。価格面でスーパーなどにお客をとられている。
	企業	東青	食料品製造	あらゆるものが値上で家庭・企業とも収支が厳しい。
			津軽	電気機械製造
		津軽	飲料品製造	取引業社からの値上げのお願いがあるので、そう感じます。
		津軽	食料品製造	原油高の影響
		県南	建設	油を代表とする諸物価の値上がりによるコストアップ
			広告・デザイン	お客様が通常の販売促進を中止したり、販促予算を半減したり、広告費の削減を大幅に実行してる。
		下北	食料品製造	何をとっても良い要素が見つからない。
	雇用	東青	新聞社求人広告	住宅を含めた建設業からサービス業に至るまで動きが鈍い。
			人材派遣	原油価格の不安定さ、食品製品材料の高騰が各業界に波及、消費力低下にも大きく影響している。
		県南	新聞社求人広告	食料品、資材、石油等の高騰により、消費が低迷している。

( 2 ) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	東青	観光名所等	東北の祭りを経て景気づいてくれることを願います。
	企業	県南	食料品製造	今以上に悪化する要素（エネルギー関連、素材高騰）が見当たらない。
変わらない	家計	東青	一般飲食店	景気の良くなる材料がない。
			競輪場	変動要素が見つからない。
			パチンコ	景気が良くなる兆しを感じない。
			住宅建設販売	景気回復になるような材料がないので、現状維持がやっとだと思われる。
			商店街	原油価格の高騰は留まるところを知らないような状態で、その影響からまだまだ波及する懸念がある
			設計事務所	浮上する要因が見当たらない。
			卸売業	食品については、まだ値上げが続きそうなので。
		津軽	家電量販店	米国景気に対する先行
		県南	家電量販店	大きく良くなる点が見つからない。ガソリンの値上げ、食品の値上すべてが値上に向っている感じがあり、お客様の購買状態もシビアになって来ている。
			美容院	燃料、肥料、毎日の必需品など構造的な値上りなど簡単に改善される見通しが無い現状から。
			タクシー	回りの物価が上るので、みんな自己防衛に四苦八苦している。
			一般小売店	原油高の影響は一年中だが、青森県の場合、灯油を使う10月以降がどうなるか、特に心配だ。
			住宅建設販売	今の景気はやや上昇したり、下降したりの波がある景気のため、上がったたり下がったりがあると思う。また、地方のため、東京より1ヵ月くらいおくれるため。
		企業	津軽	広告・デザイン
	県南		電気機械製造	一時的な減産はあるものの、ヨーロッパは域内での生産 - 消費サイクルがあり、大きくは崩れないだろうとの現地の話が入っています。又、アジアの伸びも続くので、原料高をうまく乗り切れる企業は勝ち残ると言われています。
	雇用	東青	人材派遣	いまなお原油価格の不安定さ、食品製品材料の高騰の影響が広まっていると感じる。
やや悪くなる	家計	東青	百貨店	一連の値上げラッシュが鎮静化しないかぎり、回復には転じないと思われる。
			レストラン	ボーナス時期、ねぶた時期にもかかわらず、みんな流れが悪そう。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	乗用車販売	良くなるとは思えない。
			衣料専門店	燃料価格の上昇から始まった物価高、悲壮感報道の過激さが拍車を掛けて消費減退。良性報道増を望む。
			家電量販店	原油価格高騰がまだ続きそうだから。
			都市型ホテル	原油や食材等収益に直接影響を与える物品の値上がりが続いており、先の予測が難しく不透明である。
			旅行代理店	この先は、悪くなる条件ばかりです。
			美容院	まだまだ値上げに対する不安があり、節約ムードになっている。
		津軽	百貨店	特に衣料品販売額が業界全体で10ヶ月以上連続の減少。相次ぐ値上げで、主要顧客の女性の生活防衛意識が今後も変わるとは考えづらい。
			観光名所等	ガソリン、原材料、生活物資、消費税値上論
			衣料専門店	戦後最長続いた景気も去年の8月で終わった説。
			一般小売店	良いという話を聞いたことがない。
			住宅建設販売	農作物の自然要因での被害及び生活必需品の高騰傾向等
			旅行代理店	りんご中心の津軽地方での被害の大きさを考えると消費はさらに落ち込むと思います。
		県南	設計事務所	これまで景気が良いと言われていた中央都市圏も悪い方向に行きだしたので、これまで悪かった当地方はますます下向きではないか？
			スーパー	余りにも物価が高くなってきているし、さらに上るため
			旅行代理店	ガソリン等燃料の高止まりにより各企業の採算悪化、バイオ燃料がらみで食料品の更なる値上げが見込まれ、個人の消費抑制が強まることが懸念される。
			ガソリンスタンド	諸物価上昇により（特に石油類）
			一般飲食店	食料不安、価格の値上げ、原油の高騰など生活をおびやかす事柄だらけで、消費が減退することは必須。
			スナック	物価の値上ラッシュで家計が苦しいと思われれます。
		下北	コンビニ	一般の消費者給与と比べ、物価高騰の方が勝っており、これでは家計圧迫状態で今後も需要低下＝売上大幅DOWNと来る。
			スーパー	ガソリン等値上による衣料品等の買い控え
			レストラン	食も目に見えて値上りしています。切り詰めても、この先値上りが続くと生活が大変です。
			一般飲食店	今以上良くなることはないと思います。どこから考えても、むつ市の将来は全くないと思います。何かあったら、それにしがみついても頑張ろうとは思っていますが。

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなる	家計	下北	ガソリンスタンド	原油高騰が天井知らずの上昇により、物価が更に上昇していると予想される。	
			企業	東青	広告・デザイン
	企業	東青	経営コンサルタント	多くの業種で体力勝負が続いている。建設、運送、小売業等でこれからも厳しい競争が続くと見られることから。	
			津軽	経営コンサルタント	これからりんごの収穫が始まり、収入減が予想されるから。
			県南	飲料品製造	燃油高による資材、コストの上昇による業界の商品値上げが進み、消費が落ちこむだろうから。
				紙・パルプ製造	原燃料価格の上昇による企業業績の低下、生活物資の値上がりが続くと思われるから。
	雇用	津軽	人材派遣	原油価格を発端とした物価高騰は今のところとどまる気配がなく、しばらく続く可能性がある。減税等何らかの手だてを打たないと景気はさらに悪化する。3～4ヶ月後には暖房の季節がやってくるが、それまでに原油価格がどうなっているかが非常に気になり。	
			新聞社求人広告	一層の原油高による企業マインド・個人消費者マインドの冷え込みに加え、霜・ひょう害による農家の支出控えは間違いなく景気悪化を招くと思うため。	
悪くなる	家計	東青	スーパー	今後も電気料金の値上等、一般消費者にとって明るい材料が無い為。	
			スナック	悪い状態のままですね。同業者が次から次とやめてます。淋しい一言です。明日は我が身です。それなりに頑張るのみです。	
			ガソリンスタンド	原油は秋頃までは確実に上昇する。消費は冷えこんだまま推移することはほぼ間違いないと思われる。	
			観光型ホテル・旅館	原油価格の高騰により、物価高となっており、生活（家計）を圧迫し続けており、景気が良くなると思われない為。（個人・ファミリー客の動きが悪い。）	
			一般小売店	原油高・地球温暖化	
			タクシー	景気回復するニュースが一つもなく、大中小企業いずれも先行きの見通しが読めない状況にあるため、資金が回らない。	
			津軽	パチンコ	3ヶ月後、そろそろ灯油も必要だし、物価の上昇による。
			都市型ホテル	公務員以外は収入が減っているのに、生活物価が上昇し、苦しい状況が続くと予想されます。外食産業への影響が心配です。	
			タクシー	原油高が収まらないうちは、心理的に不況感がなくならないと思う。	
			美容院	良くなるだろう材料がなにもない。	
		ガソリンスタンド	ガソリンスタンド業を営んでいるが、価格が上昇しても小売価格に転嫁出来ずにだんだん利益率がさがっている。		
		商店街	原油の高騰による物価高の影響は続くと思われる事から、良くなっていく要素は全く無い。		
		スナック	物がなんでも高くなって、飲みに来る人が少なくなると思います。		
		一般飲食店	景気の回復が見こまれるような材料がない。値上げ、値上げで先が見えない。		



先行き	分野	地区	業種	理由	
悪くなる	家計	津軽	観光型ホテル・旅館	食品や燃料費等、様々なものの物価が上昇し、仕入れにも大変な状況になってきている。ガソリンの高騰の影響からか遠出をひかえているらしく、温泉地まで来る人が少なくなっている。	
			設計事務所	本県に関する建設業の数が激少している訳を考えると先が全く見えてこないのである。	
			コンビニ	景気回復の要素が見当たらない。	
		県南	衣料専門店	ガソリンや食料品の値上り、その他年金やら健康保険の問題点など山積している。不安材料ばかりです。	
			パチンコ	原油高により様々なものが値上がりしており、新聞・ニュース何をとっても良くなる要素は全くない。	
			百貨店	物価上昇を意識しての買いひかえの動きあり。全ての物が値上りすると思われる中、消費拡大するとは思えない。	
			卸売業	・物価が上がり、所得が増えず、消費がさらに悪化することが予想される。 ・あらゆる物がこれから値上げされてくる。	
		下北	タクシー	ガソリン価格の上値メドが予測出来ない為に、それにつれ諸物価のますますの高騰が見込まれ、買いひかえが進行すると思われる	
			一般小売店	原油価格が更に上昇傾向にあり、ガソリン、食料品の更なる値上がりが予想されます。所得の増えない現在、景気が上向く要因は見あたりません。	
			コンビニ	原油高騰で、これから寒い時期になっていくと、灯油代が重くのしかかっていくと思う。	
		企業	東青	食料品製造	原油高が止まらない。
				建設	原材料価格の益々の高騰が予想される事。公共、民間共に事業量が減少する事。
			津軽	電気機械製造	今期に入り毎日受注が減少しています。客先からの内示を見ても回復は秋以降になりそうです。
				食料品製造	底値知らずの原油高
				飲料品製造	ニュースなどの報道でも年内中は原油も高騰で推移との事だから。
	県南		経営コンサルタント	物価高、消費低迷して、スタグフレーションの傾向。	
			広告・デザイン	広告費にかける年間予算の削減と本来広告会社に発注している様な仕事を自社でやっている。	
			建設	まだまだ諸物価の値上がりにストップがかかる気配がない為	
	下北		食料品製造	7～8月、観光、帰省シーズンを迎えるが、現在の状況で、ここ数年よりお客様が多いと思えない。	
			雇用	東青	新聞社求人広告
	求人情報誌	ガソリンや生活用品の値上り他			
県南	新聞社求人広告	物の値段がさらに上がるようであれば、厳しくなるだろう。			

## 5 . 参考

### ( 参考 1 ) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成 1 9 年 7 月	平成 1 9 年 1 0 月	平成 2 0 年 1 月	平成 2 0 年 4 月	平成 2 0 年 7 月
<b>合 計</b>	<b>35.4</b>	<b>32.8</b>	<b>24.2</b>	<b>20.5</b>	<b>16.9</b>
家計関連	35.5	32.1	23.6	20.9	17.9
小売	33.3	32.8	20.8	23.3	15.8
飲食	43.8	25.0	31.3	25.0	20.5
サービス	35.6	36.1	25.0	15.7	17.6
住宅	29.2	25.0	15.0	25.0	25.0
企業関連	34.7	36.1	27.8	20.8	15.3
雇用関連	35.7	32.1	21.4	14.3	10.7

回答別構成比 ( % )

	平成 1 9 年 7 月	平成 1 9 年 1 0 月	平成 2 0 年 1 月	平成 2 0 年 4 月	平成 2 0 年 7 月
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	11.1	9.1	3.0	1.0	1.0
どちらとも言えない	37.4	31.3	24.2	15.2	11.1
やや悪い	33.3	41.4	39.4	48.5	42.4
悪い	18.2	18.2	33.3	35.4	45.5

地区別 D I

	平成 1 9 年 7 月	平成 1 9 年 1 0 月	平成 2 0 年 1 月	平成 2 0 年 4 月	平成 2 0 年 7 月
<b>合 計</b>	<b>35.4</b>	<b>32.8</b>	<b>24.2</b>	<b>20.5</b>	<b>16.9</b>
東青	30.0	34.2	20.8	15.8	16.7
津軽	35.0	25.8	21.7	21.7	10.8
県南	37.9	40.5	31.9	25.9	25.0
下北	45.0	27.5	20.0	15.0	11.1

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	たばこ自販機購入のカード化により、コンビニ店内での購入がかなり増えました。カートン買いのお客様も多いですが、その分売り上げが上がっているだけで、購入額は他の一般商品はかなり買い控えられています。
		衣料専門店	商店街で認証しているラーメンが全国放送のテレビで話題になり視聴者のツアーポイントになった事から忙しさを悲鳴を上げた。特徴的だったのは報道での過熱は「すぐ冷める」が通例なのに一ヶ月以上も好景気が続いた事。理由は、30数年も営業している有名店、足が遠のいていた旧来のお客さんを番組をきっかけに呼び戻した事。「継続は力」を思い知らされた。愚痴をこぼしているよりコツコツと続けている事が大事なのです。 中心商店街をあげてのイベントを、ゴールデンウィークに街騒ぎし、来街者を呼び込むことを目的に始めた。今回で3回目を向かえ運営もスムーズで15万人の人出、商店街の売上も他地域、回りの情報から判断するとまずまず、特に飲食関係者は大喜びでした。車道を開放し街中をステージにした観光来街者、参加者、住民サポーター、商店街スタッフそれぞれが主役の大イベント継続を鍵に頑張りたい。
		商店街	仙台国税局の路線価が下げ止まったことは朗報で、底を打ったことの表われのように感じる。
		卸売業	夜の外食産業が非常に厳しい。
		レストラン	これは私的な考えですが、みなさん各ジャンル別に県が色々クローズアップしてゆき、マスコミ(新聞やテレビ)などで紹介してほしいと思う。そしたら、消費者の方に、こんな感じの仕事をしているんだとわかってもらえるし、一人一人がもっとがんばれると思う。
		スナック	家賃は下げない。酒代は上がる。飲食代は安くなる一方。ふんだりけったりの飲食業です。でも仕方がないのでしょうか？
		旅行代理店	夜店通りがシャッター街になっている。この先の景気が心配だ。
		タクシー	今冬期の灯油価が心配である。超暖冬であって欲しい。
		美容院	売上の減少により、リストラをせざるをえなくなってきた。
		パチンコ	青森市のメイン、駅前通りが相変わらずシャッター通りであるうちは期待出来ない。
	住宅建設販売	住宅ローン減税が年内で終了。多少のかけこみ客は有り。来年以降が不安、消費税アップされるとどうもならない予感。	
	津軽	一般小売店	商店街に大きなマンションができて、住みはじめているが、活気につながっていない。国の認定がおりた活性化策に期待したい。
		卸売業	毎年、公共工事が減少している事。原材料の上昇にもかかわらず、製品の販売単価を同じに上げられない状況。
		レストラン	今年の桜まつりは、早咲きでも4/23~5/5までの間、近年になく忙しかった。
スナック		スーパーに行くと物がなんでも高くなり、ガソリンも。こんな生活にどうしてどういう風になれたらいいのでしょうか。	
観光型ホテル・旅館		窓を開けたまま、エアコンをかけずに走る車が見られるようになったり、物価の上昇により、出費をおさえている動きがみられる。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	津軽	都市型ホテル	当社においては、店舗・企画等での食べ放題、飲み放題は安定して売上・客数を伸ばしている。料金・内容がお客様のニーズとマッチしていれば、不景気と関係なく、売上を維持できる実感があります。
		観光名所等	国県市等、国民とやるべき事、解決すべき方等見方がかい離している。
		旅行代理店	突然の営業停止、廃業、倒産が多すぎる。(新聞に載らない分も含め)
		美容院	これだけのガソリン高になると、郊外型の店はキツくなってくるだろう。移動の距離は消費者にとって大きな問題となるから、近場での消費になってくるはず。人の流れも変わる。
		パチンコ	特に、不急不用な物は買わない様にしている。
		ガソリンスタンド	弘前の中心街と言われた土手町は、土・日曜日でも人が見あたらず、郊外に行くとき昔の繁華街のように活気がある。これを見ると、いくら中心街活性化を唄っても不可能な感じがする。
		設計事務所	政府なりがこの物価上昇を何もしていないことがわからない。他の国だと暴動がおこっても不思議ではないのに・・・。
		住宅建設販売	将来の不安、不透明感なのか、金利動向なのか住宅ローン等の一部内入返済、またはその逆で条件変更等の相談が多い。
	県南	コンビニ	車での来客が多い為、よくお客様からは、ガソリン等の値上げの話がよく聞かれる。又、国や県・市での税金の不正問題などお客様からよく話がある。
		百貨店	・厳しいと思われた中元ギフト、仕掛成功で順調に推移。 ・クリアランスに入り不振だった衣料品も順調だが、全てにおいてお得な期間のお得な買物に集中してきている。
		乗用車販売	自動車業界では1BOXから1000ccクラスの燃費の良い車への買替えが目立ちます。ハイブリッド車に対する問い合わせも増えました。
		衣料専門店	24年間担当していたブランドが全国の店からなくなります。力不足?景気のせい?予算は達成してましたが・・・
		一般小売店	ガソリンが目立って高くなった5月以降遠方からのお客様が目立って減ったとあちこちで聞く。
		卸売業	国として、原油価格の高騰に対する対策を早急に望む。
		一般飲食店	良くない情報ばかりで、県民が投げやりにならない様、行政のサポートが大事。
		レストラン	車の利用をひかえ自転車通勤をしている人が多くなった。
		スナック	下向きです。所得水準の低さ
		観光型ホテル・旅館	岩手宮城地震による風評被害により、ねぶた祭りを含む観光産業へ影響が出ている。
		観光名所等	会社を解雇された人が、回りに何人かいます。何年も勤めたのに。私が、もし、解雇になったら、貯蓄がないので、生活出来なくなります。毎日の生活費で貯金をする余裕がありません。
タクシー	ガソリンの値上げ、生活必需品の値上り、そして人口減、みんな頑張っているけど、早く笑える日が・・・。		
美容院	政策が毎日コロコロ変わる不安定な仕組みがマスコミで公表されることで、景気回復はしばらくあきらめムード。しっかりした中長期な目標を確実に実行する約束が欲しい。		

分野	地区	業種	自由意見	
家計	県南	パチンコ	40代後半ですが、これまで短期間で、ガソリンを筆頭にこれだけのものが値上がりしたのは初めてです。夫、私ともに安定した収入を得ていますが、高齢者・非正規雇用者（派遣・契約・アルバイト）はますます大変になると思います。	
		下北	スーパー	小売業にとっても物価の上昇はお客様の買い控えにより、売上不振につながる。価格競争が激化し利益も上がらない傾向になると思う。
			一般飲食店	むつ市だけとは思いませんが、お先真っ暗だと思います。頑張りようがないです。この50年来始めてのことです。
			レストラン	お客様の声、この夏、この冬越せるのかしら、頭が痛いです。
			タクシー	むつ市も大型量販店が次々と出店して来ているが、自家用車をひかえる時がくるような気がします。その時の市民生活にプラスにならないのでは？
			ガソリンスタンド	夏場は、灯油の需要が少なく大した影響はないが、冬場は原油の高騰で、おそらく150円台ぐらいはなりそうなので、経費、会計のひっばくが心配である。
企業	津軽	食料品製造	7月に入ってから、取引先の倒産があいついだ。たぶんこの調子でふえるであろうと思われる。	
		飲料品製造	この先どうなるのか大変不安です。	
		電気機械製造	このままでは世界的な規模の不景気にならないかと心配です。	
		建設	原油高の影響で油から食料品迄いろんな物が値上がりしている。漁に出られない、倒産等まだまだ続きそうです。いつ迄、この状態が続くのでしょうか。	
		広告・デザイン	仕入業者（本店・広島県）が創業100周年との事。しかし、昨今の御時世では、祝賀をやれる状況ではなく、記念品をお届けして終える様子。なんとも寂しい時代だ。	
	県南	食料品製造	今回は、良いインフレ（所得増が伴う物価高）でなく、悪いインフレ（所得そのまま、物価高）の感が強く、マクロ的対策（政府・国単位）も自助努力に加え必要。	
		飲料品製造	岩手・宮城内陸地震の風評被害による祭り観光への影響が心配だ。	
		電気機械製造	人手不足から青森に求人がふえているが、単なる作業員としての求めに応じては、過去の例通り、景気悪化時に何も残らない。現在推進中の県を中心とした物作り人材育成活動と企業誘致に加え、地元企業を資金面からバックアップして大きく育てる取り組みがなされるよう大いに期待しています。	
		建設	建築業に対する金融機関の貸出スタンスに厳しさが増している状況から、同業間の取引において、代金回収等慎重さが求められている。	
		経営コンサルタント	政治が経済対策を全然樹ててない。	
		広告・デザイン	印刷・広告関連は、もはや体力勝負で維持することで精一杯の節がある。問題として、行政の仕事を県外業者に発注している様なことは考えて欲しい。	
	下北	食料品製造	日本は世界に対して、ある程度の力を持っていると思っていたが、さほどでもない事を最近ひしひしと感じています。	
		東青	人材派遣	有効求人倍率、失業率の悪化や倒産件数増の状況から景気の上向きにはまだまだ先と思われる。